

「全鍍連」 2016年 2月号 巻頭言

全鍍連総務委員長 池田 伸一 (三和鍍金工業(株) 代表取締役社長)

「大阪の昔と今」



大阪府鍍金工業組合は大正、昭和、平成と三つの時代に渡って、諸先輩が数多くの困難を克服して今日の大阪府鍍金工業組合の土台を築き上げ、来年、創立 100 周年を迎えようとしています。現在の組合員は 221 社で、ピーク時の 501 社の半分以下に減少し、厳しい現状にありますが、大阪のモノづくり産業の中心的な役割を担っています。

当組合は大正 7 年 9 月 2 日に「大阪鍍金同業組合」として組合員数 120 名にて創立致しました。初代組合長（現理事長職）は宮林操三氏で、東京で日本最初の本格的めっき工場を稼働された宮川由多加氏の実弟で、兄の了解を得て、明治 27 年に、この大阪で工場を稼働されました。NICKEL を「ニッケル」と訳した人らしいです。共に愛知県のご出身で、愛知県と言えば、豊臣秀吉もそうですが・・・当組合では、愛知県出身でこの大阪で起業された大先輩が多くおられました（現在では優秀な方はほとんど東京に向かうのでしょうか）。

さて、私が最近よく見ている大阪に関連した NHK のテレビドラマが二つあります。

一つめは、現在放映中の NHK 連続テレビ小説「あさが来た」です。ヒロインの「あさ」、そのモデルは広岡浅子氏です。氏は、大同生命創業者の一人で、わが国で最初の組織的な女子高等教育機関である日本女子大学校を設立した女性です。その「あさ」を実業界に導く師匠が「大阪の恩人」と呼ばれ、大阪商工会議所の初代会頭の五代友厚氏です。

氏は、明治維新の混乱で衰退した大阪経済再生と産業基盤づくりを果たした人で、氏の恩を忘れないよう大阪商工会議所ビル前には氏の銅像が建っています。当組合の初代組合長、宮林操三氏も明治から大正時代にかけてご活躍され、五代と重なる所があると思います。

そして、もう一つは、豊臣に関係した NHK 大河ドラマ「真田丸」です。脚本は NHK 大河ドラマでは平成 16 年に放送された「新撰組」以来、二度目となる三谷幸喜で、平成 22 年以来続いている原作なしのオリジナル作品です。主人公は大河ドラマでは初となる真田信繁（幸村）です。ドラマのタイトルは、大坂の陣（冬の陣）で信繁が築いたとされる出城「真田丸」に由来し、また、真田家を「戦国の荒波に立ち向かう一隻の船」に例えた掛詞らしいですが、その真田丸の出城が存在した場所は、当組合会館から歩いて直ぐの所です。

その大阪も、最近では当然ながら、外国人の観光客が非常に多いのですが、体感的には梅田や JR 大阪周辺のキタよりも心斎橋、道頓堀、難波周辺のミナミの方が圧倒的に外国人観光客が多く見られます。特に、心斎橋筋商店街～戎

橋～道頓堀の辺りは大変多く、歩行者の大多数が外国人観光客と思われるような日が多くなりました。グリコの看板や道頓堀など記念撮影する場所もたくさんあり、“ジスイズ大阪”雰囲気が多い外国人観光客を引き寄せるのでしょう。外国の方が、たこ焼き、焼きガニ、ラーメン、クレープなど家族で分けあって笑顔で食べる姿・・・特に欧米の人がたこ焼きを猫舌で熱がっている姿を見て、非常に微笑ましく感じられ、こちらも嬉しくなります。外国からの旅行者にとって、買い物だけでなく、観光や食事、宿泊など効率よく巡れるのがミナミなのです。そして関西全体も訪日外国人旅行（インバウンド）の急増に沸いています。人気の理由は、日本の街の清潔さと観光客に親切で、何よりも日本製品の品質の高さと信頼性があげられます。円安の進行もありますが、日本文化への関心の高まりが大きいと思います。中でも目立つのが、中国人観光客です。中国経済の減速や人民元高誘導の修正が気になりますが、彼らによる大阪に対する感想は、東京に比べて緊張せずにラフに行ける都市であり、全てが秩序良く機能する東京と比べて大阪は街の賑やかさや人々の雰囲気が中国に近く、東京の静寂感より大阪の方が安心できるという方もいます。

やはり、物理的な距離ではなく、心理的に近いところも関西人気の理由かも知れません。国内マーケットに依存していた多くの小売業などにとって、インバウンド消費は特需と言えます。今後ともインバウンド（訪日外国人旅行）関連の消費が関西経済を押し上げると期待しています。また、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®（USJ）もありますので、是非、大阪に遊びに来てください。

末筆になりますが、当組合は平成 29 年 10 月 21 日（土）午後、組合創立 100 周年記念式典をホテルニューオータニ大阪で開催します。また、記念事業の一環として、思い出に残るような記念誌を作成中です。その折には、ご祝辞の寄稿をお願いする予定です。依頼された日本全国の組合役員の皆様方にはご無理なお願いを申し上げますが、記念誌の主旨などご理解を賜り、ご支援並びに執筆等のご協力を賜りますようお願い申し上げます。